



がんばれ!

## 子育て日記

天気 晴れ\*

○年△月×日



### おてんばな女の子



「女の子なのに遊ぶお友達はいつも男の子…、一緒になって戦隊ヒーローごっこに明け暮れる毎日…。おまけに髪型や服装も男の子と同じでなければ嫌だと主張し…。よく男の子に間違われる始末…。もしかしたら、うちの子は“性同一性障害”なのでは…？」と、娘さんのことを心配しているお父さん・お母さんはいらっしゃいませんか？

テレビで見かける女性タレントが、「私は小さい頃、男子顔負けのおてんばだったんですよ～」と話しているのを見かけることもあります。子どもは好きな遊びをする時はあまり性別を考えたりはしないそうです。

反対に、ままごとが大好きな男の子もいたりします。ですから、このような場合は「男だから」「女だから」といったことではなくて、“自分らしく好きなようにふるまっている”のだと思います。



よく大人は、「男の子は活発に」「女の子はおしとやかに」などと大人の価値観を押しつけ、知らず知らずのうちに子どもを傷つけたり、可能性を奪ってしまうこともあったりしますが、一般的に“思春期”といわれる第二次性徴期を迎えると、生物学的な性に従って自然に男性らしくなったり、女性らしくなったりするものなので、小さい頃の娘さんの行動を問題視することはほとんど意味がないと思います。

もし思春期になっても、なお今のような状態が続いていたとしたら、その時はいろいろな角度から分析・アプローチしていく必要が出てくるのかもしれませんが、まだお子さんが小さいうちは、あまり考えすぎる必要はないでしょう。

女の子が男の子と遊びたがるというのは、逆に自分が女の子であることを強く意識して、「男の子に負けないぞ」と思っているのかもしれませんが。今は日本でも女性の活動の場がどんどん広がっている時代で、女子サッカー選手・女性冒険家・消防士・宇宙飛行士の活躍は目覚ましいものがあります。

もしかしたら、おてんばな娘さんは、“素晴らしい夢を育てることができるだけの特別な能力”が潜んでいるのかもしれないね。

